

# 宮城県交通安全母の会だより

令和8年3月  
第63号

発行所  
宮城県交通安全母の会連合会  
(〒980-8570)  
仙台市青葉区本町三丁目8番1号  
(宮城県企画部地域交通政策課内)  
TEL 022-211-2438



## 会長挨拶

宮城県交通安全母の会連合会  
会長 佐々木 和恵

はじめに、宮城県交通安全母の会連合会会員の皆様におかれましては、お健やかに過ごしの事とお慶び申し上げます。

平素から会員の皆様には、「交通安全は茶の間から」をスローガンに、年間を通して各地域の警察署や交通安全協会のご指導のもと春・秋の交通安全県民総ぐるみ運動をはじめ、各市町村職員の方々とともに工夫を凝らした運動を実施されておりますことに、深く感謝申し上げます。

また、地域交通政策課職員の皆様には、総会等をはじめ県主催の高齢者交通安全教育指導者研修会や、リーダー研修会において心温まるご指導を賜り、充実したものとなりましたことに厚く御礼申し上げますとともに、参加された会員の皆様には学んだことを今後の活動に生かしていただければと思います。

さて、令和7年の交通情勢について、事故件数及び交通事故の死傷者数はともに減少傾向にありますが、高齢者が関与する死亡事故は依然として高い割合で推移しております。母の会会員の皆様が地域に密着した活動をすることによって悲惨な交通事故がなくなるよう、より一層のご尽力を賜りますようお願いいたします。

結びに、今後の交通事故のない明るい地域社会の実現をご祈念いたしまして、挨拶といたします。

## 交通安全功労者表彰 (交通対策本部長表彰) (敬称略)

多年にわたる母の会の活動をはじめ交通安全活動への多大な貢献により交通対策本部長(内閣府)から表彰されました。

佐々木 けい子 (美里町)



## 宮城県知事表彰受賞者紹介 (敬称略)

多年にわたる母の会の活動をはじめ交通安全活動への多大な貢献により知事から表彰されました。

## 文化の国表彰

[交通安全功労者]

佐藤 美代子 (名取市)



## 交通安全功労者等表彰

[交通安全功労者]

鈴木 綾子 (塩竈市) 三浦 藤子 (多賀城市)  
佐藤 秀子 (大河原町)

## 宮城県交通安全母の会連合会長表彰 受賞者紹介 (敬称略)

多年にわたり、母の会の活動に従事し、交通事故防止活動に貢献された方が母の会連合会長から表彰されました。

鈴木 綾子 (塩竈市) 大友 かづこ (名取市)  
六郷 より子 (登米市) 鎌田 たみ子 (松島町)  
伊藤 幸子 (涌谷町)

## 高齢者交通安全ふれあい世帯訪問事業



名取市交通安全母の会の  
高齢者交通安全ふれあい世帯訪問

名取市は8地区で構成され、海・山・平野と特色のある地域です。各地区長中心に駐在のお巡りさんと共に行う下増田地区、民生委員やその経験者が多い増田地区等地域の特性を生かした方法で活動

展開しています!!夏と年末と2回実施し、コロナ禍前は1000軒現在は500軒の家庭訪問となり、令和8年3月をもって50年になります。「交通安全は茶の間から」を合言葉に、黄色に輝くエプロンに願いを込めて・!!事務局職員の絶大なご指導の下、令和8年4月23日には「創立50周年記念事業」を計画し、「式典」と「50周年記念誌」の発行に向けて大輪の花を咲かせようと目下、大奮闘中です!!ロゴマークや手作り品は完成です。全戸加入を目指し、活動資金は毎年、各地区長を中心に足を運び、各町内会様から協賛金を捻出していただき貴重な財源となっています。又、4年連続して第一貨物労働組合様から「愛のカンパ金」という形でご支援賜り、活動を推進する上で大きな励みとなっています!!特殊詐欺や自分の身は自分で守るように声がけし、反射材タックルベルトや入浴剤等をお届けしながら、地域の皆さんとの、ひびき合う出会いを求めて、年末である今日も駆けずり回っております。

(名取市 佐藤美代子)

## 東北ブロック交通ボランティア等講習会 (青森県)



講習会での宮城県の発表

内閣府主催の東北ブロック交通安全ボランティア等ブロック講習会が11月11日に青森県で開催され、宮城県からは連合会会長の

佐々木和恵、副会長の熊谷安子の二人が参加しました。

午前の部は東京都市大学の稲垣具志先生から、「子どもの交通事故防止」として、子どもの道路横断の判断能力と交通安全教育における家庭、地域の役割の重要性、能力の特性、限界を適切に把握する必要、危険予測能力の欠如に着目した視点が話されました。午後は新潟大学の村山敏夫氏より交通ボランティアの育成と活性化と題し、「シビックプライド」市民が自分の住む地域に対して持つ愛着、「エンパワメント」自分に出来る事が自分の能力の発揮に繋がること、有機的連帯、それぞれが役割を果たすことで社会全体として機能する事を話されました。その後、青森、秋田、岩手、山形の4県の活動発表があり、宮城県からは、村田町の年間を通した実践活動を紹介しました。春、秋の人垣作戦、セーフティ交差点運動、夏の街頭啓発運動、高齢者世帯訪問、自転車のヘルメット購入助成事業等です。

各県とも会員の担い手不足等、様々な意見交換を行い、最後に主催者より講評をいただき閉会となりました。

(副会長 熊谷安子)

## リーダー研修会



テーマ別に分かれてグループ討議

宮城県交通安全母の会連合会リーダー研修会が、令和8年1月15日(木)午後1時より宮城県運転免許センター大会議室にて開催されました。佐々木会長から地域に根ざした

地道な活動に感謝し、今後共ご尽力賜るとともに、地域活動の参考とし、新たな展開の一助となるようにと挨拶を頂き、始まりました。その後「令和7年度

## 交通事故発生状況

令和7年中の県内の交通事故発生状況は、発生件数、死者数及び死傷者数とも前年から減少し、死者数は令和4年に次いで少なくなりました。また、65歳以上の高齢者の交通事故死者数は、前年よりも減少したものの、交通事故死者全体に占める割合は約6割と前年より高くなりました。

【交通事故発生状況】

(単位：件、人、%)

区分	発生件数	死亡事故		負傷者			
		件数	死者数	重傷	軽傷	計	
令和7年	3,730	38	38	502	4,031	4,533	
令和6年	3,785	47	47	444	4,121	4,565	
増減	数	-55	-9	-9	+58	-90	-32
	率	-1.5	-19.1	-19.1	+13.1	-2.2	-0.7

東北ブロック交通ボランティア等講習会」受講報告がありました。そして5グループに分かれて討議が行われました。飲酒運転の根絶・高齢者の交通事故防止(歩行者・運転者)・子どもの交通事故防止・自転車の安全利用とそれぞれのテーマで積極的に地域の現状等が話し合われ、それに向けての課題や対策の案を出し合いました。その後グループごとの発表は吸い込まれる程上手な各自個性的な面白い発表でした。まとめの的確なご講評をいただき改めて確認ができ、各自地域に帰っての復命の大事さを胸に木村副会長の挨拶にて無事閉会となりました。



発表資料の作成

(副会長 穴戸京子)

## 飲酒運転根絶啓発活動紹介



飲酒運転根絶横断幕掲示

令和7年12月2日、大型スーパー店の店舗入口において、飲酒運転根絶キャンペーンを行いました。当日は、加美町交通安全母の会役員20名が参加。横断幕とのぼり旗を掲げながら啓発品のミニカイ

ロとチラシを配り、飲酒運転をしない、させないでと、買物客に呼びかけました。寒風の中、初めて参加した役員も元気に声かけをし、励まされました。

また、12月12日に加美警察署交通課長を講師に中新田支部研修会を開催しました。その中で飲酒運転体験ゴーグルを着用してキャッチボールをしました。思うように体が動かず、参加者もびっくり。あらためて飲酒運転の危険を実感しました。

残念ながら加美町でも飲酒運転がなくなりません。危険な飲酒運転

はしない、させない、許さない、今後も根絶にむけて啓発・広報活動を続けていきたいと思います。

(副会長 木村和子)



飲酒運転根絶を御願います

## 地区連協議会活動紹介

### 仙台地区連絡協議会

11月13日、多賀城市文化センターにおいて、令和7年度の仙台地区連絡協議会研修会を開催し、会員約60名が参加しました。



仙台地区連絡協議会  
佐々木和恵会長の挨拶

研修会では、まず塩釜警察署交通課長の馬場岩雄様より、最近の県内及び仙台地区の交通情勢についてご講演いただき、交通安全に関する最新の課題を学びました。



塩釜警察署による交通安全講話

続いて、多賀城市交通安全母の会による活動事例発表が行われ、令和7年3月22日に交通死亡事故ゼロ1500日を達成したことなどが報告されました。

また、公益社団法人日本3B体操協会による用具を使った体操を体験しました。

最後に、参加者全員で「交通安全宣言」を読み上げ、「交通安全は茶の間から」を合言葉に、安全で快適な地域社会の実現に向けた取り組みや、母の会活動の充実と継続を確認しました。  
(仙台若林地区 岩泉順子)

## 仙南地区連絡協議会

11月20日当日大河原町地区での研修会でした。仙南地区各市町26名が参加しました。役場集合後、町バスにて大河原警察署へ移動しました。そこで3種のご講話をいただきました。始めに1)「防犯講話」生活安全課係長による多発する詐欺の現状。続いて



パトカー乗車体験

2)「交通安全講話」交通課課員による県内交通事故事情。高齢者の被害加害が多いとのことでした。講話後には反射機器を使い運動機能テスト結果の年齢表示にしばし笑い声も上がったりしました。次に3)「警察業務について」警務課係長による地域警察官の業務についての説明後、外に出てパトカーに乗車させ

ていただきました。何故か会員たちは子どもに戻った高揚気分になりパトカー乗車に貴重な体験は嬉しいものでした。日々市民の為の安全安心業務に感謝敬意を払い大河原警察署を後にしました。その後もちぶた館にて昼食となりましたが、半開放場所で寒く反省点となりました。



研修会参加者

(丸森町 穴戸京子)

## 大崎・栗原地区連絡協議会

栗原市交通安全母の会では、今年度も交通事故を減らすために、様々な活動を行ってまいりました。



総会の様子

令和7年5月28日に開催しました令和7年度栗原市交通安全母の会総会では、栗原警察署交通課係長様を講師にお迎えして、「交通事故防止対策」について

ご講話いただきました。講話の中では、防衛運転の重要性や、ながらスマホの危険性について、詳しくご説明いただきました。また、会議の最後には、出席者全員で「誓いのことば」を朗読し、改めて交通安全に対する意識を再確認しました。

12月1日には、市内の商業施設3店舗にて、「飲酒運転根絶キャンペーン」を実施しました。店舗の出入口付近にて、横断幕とのぼり旗を掲げ



飲酒運転根絶キャンペーンの様子

## 春の交通安全県民総ぐるみ運動

期 間 令和8年4月6日(月)から4月15日(水)までの10日間

交通事故死ゼロを目指す日 4月10日(金)

- 運動の重点
- ① 通学路・生活道路における子どもを始めとする歩行者の安全確保
  - ② 「ながらスマホ」の根絶や歩行者優先等の安全運転意識の向上
  - ③ 自転車・特定小型原動機付自転車の交通ルールの理解・遵守の徹底



ヘルメット着用

つつ、買い物客へチラシや使い捨てカイロなどの啓発物品を配布し、合計約600人の方に飲酒運転根絶の呼びかけを行いました。

こうした活動を通じて、家庭・地域・学校等をむすぶ存在として、「思いやりのある交通社会」を目指し、安心して暮らせる地域づくりにこれからも取り組んでまいります。

(栗原市 澁谷千王子)

## 登米・本吉地区連絡協議会



長沼ポート場クラブハウスでの研修会

11月25日、登米市において当協議会の研修会及び豊齢教室を開催しました。

研修会は会場兼施設見学として2021年放送の朝ドラ「おかえりモネ」

のロケ地、長沼ポート場クラブハウス内を見学しました。館内は木材を多用した清々しく落ち着いた空間でした。

豊齢教室は講師に佐沼警察署鶴田交通指導係長にお越しいただき、高齢者や冬季の交通安全対策、今年4月1日に施行する自転車等に対する交通反則通告制度つまり反則金が科される講話を聞きました。



豊齢教室

次に登米市津山地区が活動状況報告を行いました。毎月5のつく日に街頭指導を実施し移動研修では宮城県警察本部で通信指令室や交通管制センターを見学したことを発表しました。

意見交換会では各地区の質問や感想が寄せられ、自他共に現状を再確認する機会となりました。

(登米市南方町 佐藤裕子)

## 石巻地区連絡協議会



交通安全旗の設置

石巻市交通安全母の会では、令和7年度も交通事故を減らすために、様々な活動を行ってきました。

4月の宮城県春の交通安全県民総ぐるみ運動期間及び9月の宮城県秋の交通安全県民総ぐるみ運動期間には、交通安全旗の設置や交通安全の呼びかけ等の啓発活動を行いました。

また、毎月1のつく日には、通学路で交通量が多い交差点や小学校周辺の交差点に立ち、園児・児童が安全に通学できるよう、黄色い旗を持って交通安全の声掛け、見守り活動を実施しています。

他にも、飲酒の機会が増える年末にかけて、12月上旬に商業店舗前で飲酒運転根絶キャンペーン(チラシや啓発グッズの配布等)を実施し、飲酒運転の撲滅を呼びかけました。



飲酒運転根絶キャンペーン

他にも、飲酒の機会が増える年末にかけて、12月上旬に商業店舗前で飲酒運転根絶キャンペーン(チラシや啓発グッズの配布等)を実施し、飲酒運転の撲滅を呼びかけました。

交通事故は、被害者や加害者のみならず、その家族までも一瞬にして不幸にするものです。「交通安全は茶の間から」を合言葉に、家庭や地域における交通安全思想の普及・啓発活動を行い、交通事故のない明るい社会を目指して引き続き活動していきたいと思えます。

(石巻市 堀川恵美子)

### 第33回 あなたもチャレンジ! 無事故無違反

## セーフティ123

あなたもチャレンジ! 無事故無違反「セーフティ123」は、3人チームで参加し、123日間の無事故無違反を目指し、交通安全意識の向上を図ることを目的に実施しているキャンペーンです。

無事故無違反達成チームには、抽選で素敵な賞品が当たりますので、職場の仲間、家族、友達、ご近所さんを巻き込んで、ふるって参加しましょう。

○募集期間 令和8年5月1日～令和8年6月30日

○チャレンジ期間 令和8年7月1日～令和8年10月31日(123日間)



お問い合わせ みやぎ交通安全啓発・実践キャンペーン実行委員会事務局 (宮城県企画部地域交通政策課内)  
TEL: 022-211-2438